

被災建造物の復旧性能評価研究委員会
H18年度 第1回 拡大幹事会議事録(案)

日時：2006年4月8日(土) 10:30～12:30

場所：日本大学理工学部駿河台校舎 1号館2階122会議室

出席者：白井(委員長)、中村(副委員長)、衣笠(幹事)、河野(幹事)、小林(幹事)、
勝俣(委員)、田嶋(委員)、以上7名

資料

- No.K-18-1-0 H18 第1回 被災建造物の復旧性能評価研究委員会 幹事会次第
- No.K-18-1-1 第4回 被災建造物の復旧性能評価研究委員会 議事録(案)
- No.K-18-1-2 第4回 「復旧性を考慮した耐震設計WG1」 議事録(案)
- No.K-18-1-3 復旧性を考慮した耐震設計法の枠組み
- No.K-18-1-4 H18年度 WG2「損傷評価ワーキング」報告書目次案
- No.K-18-1-5 キーワード一覧(WG2担当分)
- No.K-18-1-6 H18年度 「WG3：補修・補強後の性能評価」 活動(案)
- No.K-18-1-7 委員会報告目次案

議事内容

1. 第4回全体委員会議事録(案)について(資料 No.K-18-1-1)

白井委員長より、前回の全体委員会の議事録について確認が行われた。また、勝俣委員より、E-ディフェンスで行われる予定の実験について説明があった。本年度は学校校舎を対象とした実大実験が行われる予定であり、事前に補強を施した校舎の実験も行われる。試験は10月中旬頃および11月初旬頃に予定されている。

2. 各WGの活動状況と委員会報告書の目次案について(資料 No.K-18-1-2 ～ 資料 No.K-18-1-7)

各WGの主査より、WGの現在までの活動状況と今後の活動予定が説明され、委員会報告書における各WGの目次案が示された。また、各WGの目次案を組み合わせた全体の目次案について議論した。その結果、本幹事会において作成された目次(案)は別添の資料のとおりである。

3. コンクリート工学年次大会2006のパネル作成について

委員会の活動内容を広く公開し、多くの方に興味を持っていただくことを目的として、本年度もコンクリート工学年次大会においてパネル展示を行うこととなった。それに伴い、パネルを2枚作成する必要があるため、4月中に各WGのパネル(案)を田嶋委員まで提出することとなった。参考のため、田嶋委員が各WGの幹事へ昨年度のパネルのデータを送付する。

以上